

1

著作権について述べた下記の文章を読み、次の各問い（問1～問7）に答えなさい。

人間の知的創造活動によって生まれたアイデアや創造物には財産としてみなせる価値を持つものがあり、それらの中で法律上、利益に関わる権利として保護されるものがあり、それらの権利をまとめて **ア** と呼ぶ。**ア** は、 **イ** と著作権に分けることができる。

①著作権とは、著作物を作った人の権利である。著作権法第2条1では、著作物とは、「**ウ** 又は **エ** を創作的に表現したものであって、 **a** , **b** , **c** , 又は **d** の範囲に属するもの」と規定されている。著作権は、著作物を「勝手に使用されない権利」であり、②著作権の権利の存続期間を保護期間として法律で規定されている。

デジタル化された情報は簡単に完全なコピーを大量に作成することができる。③著作物を作った人に許可なくコピーを取ったり、その著作物を利用したりすることは、著作権の侵害にあたる。

学習指導要領 (1) - 知・技 - イ

学習内容 (1) - イ 法・情報セキュリティ・情報モラル

問1 空欄 **ア** , **イ** に入る最も適切な語句を選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 特許権
- ② 創作権
- ③ 実用新案権
- ④ 知的財産権
- ⑤ 上映権
- ⑥ 公表権
- ⑦ 産業財産権
- ⑧ 展示権

問2～問4 { 学習指導要領 (1) - 知・技 - イ
学習内容 (1) - イ 法・情報セキュリティ・情報モラル

問2 空欄 , に入る最も適切な語句を選択肢の中から選び, その番号をマークしなさい。(順不同)

- ① 考案
- ② アイデア
- ③ 感情
- ④ ひらめき
- ⑤ 思想

問3 空欄 , , および に入るものとしてふさわしくないものを選択肢の中から選び, その番号をマークしなさい。

- ① 学術
- ② スポーツ
- ③ 文学
- ④ 美術
- ⑤ 音楽

問4 下線部(1)について, 著作権法上の著作物として該当しないものを選択肢の中から選び, その番号をマークしなさい。

- ① バーで泥酔した客が即興でピアノ演奏したメロディ
- ② 目を閉じて筆で紙に書いた絵画
- ③ コンビニエンスストアで24時間撮影されている防犯カメラの映像
- ④ 楽譜で表現されていない音楽のメロディ

学習指導要領 (1) - 知・技 - イ
学習内容 (1) - イ 法・情報セキュリティ・情報モラル

問5 下線部(2)の、著作権の保護期間として最も適切なものを選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。 キ

- ① 個人の著作物の場合、基本的には公表されてから20年まで保護される
- ② 個人の著作物の場合、基本的には公表されてから50年まで保護される
- ③ 個人の著作物の場合、基本的には公表されてから70年まで保護される
- ④ 個人の著作物の場合、基本的には死後20年まで保護される
- ⑤ 個人の著作物の場合、基本的には死後50年まで保護される
- ⑥ 映画などの保護期間は、監督の死後20年まで保護される
- ⑦ 映画などの保護期間は、監督の死後50年まで保護される
- ⑧ 映画などの保護期間は、監督の死後70年まで保護される

学習指導要領 (1) - 知・技 - イ
学習指導要領 (1) - 思・判・表 - イ
学習内容 (1) - イ 法・情報セキュリティ・情報モラル

問6 下線部(3)に関して、下記の文章を読み、この事例に関して誤っているものを選択肢の中から選び、その番号をマークしなさい。 ク

Aさんはピアノの演奏が大好きで、時々作曲も行う。たまたまAさんの家に訪れていた友人のBさんは、Aさんが作曲したXという曲を演奏しているときに、スマートフォンで録音をし、それをAさんの許諾を得ずに、SNSにアップロードした。たまたまそのXという曲を聞いたCさんが気に入って、自身が制作する動画Yのバックミュージックとしてアップロードされた曲Xを使用し、インターネット上にアップロードした。(なお、著作権の譲渡は行われていないものとする。)

- ① Aさんは曲Xの著作権を有する。
- ② CさんはSNSに曲XをアップロードしたBさんの許諾を得ていれば、違法とならない。
- ③ Cさんがインターネット上にアップロードした動画Yは、Aさんの許諾を得ずに制作されたものであっても著作物として保護されうる。
- ④ Bさんは曲Xの著作権は有しない。

問7 著作権法におけるソフトウェアの保護について最も適切なものを選択肢の中から
選び、その番号をマークしなさい。 ケ

- ① アルゴリズム（問題を解決するための方法や手順のこと）は、著作権法によって保護される。
- ② アルゴリズムを記載、解説した文書は著作権法によって保護されるが、それを表現したプログラムは保護されない。
- ③ OSなどの基本プログラムは、ハードウェアの権利の範疇となるため、著作権法によって保護されない。
- ④ ソースプログラムは著作権法によって保護される。